

## 25日 木曜

### Ⅱ サムエル

22:1 【主】がダビデを、すべての敵の手、特にサウルの手から救い出された日に、彼はこの歌のこたばを【主】に歌った。

22:2 彼は言った。

「【主】よ、わが巖、わが砦、わが救い主よ、  
22:3 身を避ける、わが岩なる神よ。わが盾、  
わが救いの角、わがやぐら、わが逃れ場、わ  
が救い主、あなたは私を暴虐から救われます。

22:4 ほめたたえられる方、この【主】を呼び  
求めると、私は敵から救われる。

22:5 死の波は私を取り巻き、滅びの激流は私  
をおびえさせた。

22:6 よみの綱は私を取り囲み、死の畏は私に  
立ち向かった。

22:7 私は苦しみの中で【主】を呼び求め、わ  
が神に叫んだ。主はその宮で私の声を聞かれ、  
私の叫びは御耳に届いた。

22:8 地は揺るぎ、動いた。天の基も震え、  
揺れた。主が怒られたからだ。

22:9 煙は鼻から立ち上り、その口から出る火  
は貪り食い、炭火は主から燃え上がった。

22:10 主は、天を押し曲げて降りて来られた。  
黒雲をその足の下にして。

22:11 主は、ケルビムに乗って飛び、風の翼  
の上に自らを現された。

22:12 主は、闇をご自分の周りで仮庵とされ  
た。水の集まり、濃い雲を。

22:13 御前の輝きから、炭火が燃え上がった。

22:14 【主】は天から雷鳴を響かせ、いと高  
き方は御声を発せられた。

22:15 主は矢を放って、彼らを散らし、稲妻  
を放って、かき乱された。

22:16 こうして、海の底が現れ、地の基があ



らわにされた。【主】のとがめにより、そ  
の鼻の荒い息吹によって。

ダビデの主への信頼がいかに堅固なものであ  
ったかが分かります。この表現は誰に聞かせるでも  
なく、ただ自分自身の実感であり、歌わずにはい  
られなかった心からのものだったでしょう。私た  
ちもまた主への信頼を表現するものでありたいと  
思います。

ダビデは竖琴の賜物が与えられていました。私  
たちも何らかの賛美の賜物や方法があるでしょう。  
それで主への信頼を表しましょう。それは信仰の  
告白になり、その信仰を通りになるようにと主は  
みわざを行ってください。

ダビデがこのように主に信頼できたのは、数々  
の苦難があったからです。そこで主のみわざを体  
験したのです。私たちの苦難は、信仰の成長のた  
めであることを知りましょう。そして人々を励ま  
す者ともなるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の  
約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願  
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど  
の部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

